

常総市総合計画審議会会議録

と き 平成29年10月13日（金）
午後1時30分から

と ころ 常総市役所議会棟2階大会議室

常総市総合計画審議会会議録

平成29年10月13日（金）午後1時30分から第4回常総市総合計画審議会を常総市役所議会棟2階大会議室に召集する。

会 議 日 程

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議事録署名人の指名について
- 4 前回のおさらい
- 5 議 事
 - 議案第1号 じょうそう未来創生プラン基本構想案について
 - 議案第2号 じょうそう未来創生プラン基本計画案について
- 6 そ の 他
- 7 閉 会

出席委員	倉持 守	水野 昇	岡野 一男	入江昭三郎	倉金 一廣	藤島 忠夫
	塚本 治男	生井 邦彦	中山美代子	篠崎 孝之	海老原和子	五木田裕一
	坂入 健	長岡 徳樹	沼尻 保	尾上 孝俊	滝田美井子	

欠席委員 寺田富次郎

事務局 総務部長 荒木 悟志 行政経営課長 小林 寛明 行政経営課長補佐 渡邊 高之
行政経営係長 落合 宣之 行政経営係 谷田部裕司

行政経営課長 皆さまには、大変お忙しい中、常総市総合計画審議会にお集まりいただき誠にありがとうございます。審議会は、設置条例の第6条で「委員の半数以上が出席しなければ会議が成立しない」となっておりますが、本日、出席委員は18名中16名であり、会議は成立しております。まず、会議に先立ちまして資料の確認をさせていただきます。まず、A4の縦（1）会議資料、A4の横（2）市民意見募集（パブリックコメント）の結果、（3）市議会8月定例会議議員全員協議会質疑・対応、そして、事前にお配りさせていただきました（4）じょうそう未来創生プラン（常総市総合計画）案、（5）じょうそう未来創生プラン前期基本計画（案）、最後に、A4の縦（6）じょうそう未来創生プラン（常総市総合計画）基本構想（案）について（答申）、以上6種類の資料になります。不足ありませんか。それでは、会議開催に先立ちまして、倉持会長よりごあいさつよろしくお願ひいたします。

会 長 皆さんこんにちは。何かとお忙しい中、委員の皆さま方には総合計画審議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日の案件は、「じょうそう未来創生プラン基本構想案」について、「じょうそう未来創生プラン基本計画案」についてであります。基本構想案については、これまで審議を重ねてまいりました内容を踏まえ、審議会から答申を出すということになっておりますので、どうかよろしくお願ひいたしま

す。この後、事務局より説明を求め、審議を進めてまいりたいと思いますので、十分なご審議ご意見等よろしく願います。

行政経営課長

ありがとうございました。それでは、次第に従いまして会議を進めます。常総市総合計画審議会設置条例第4条により、会議の議長は会長が務めるということになっております。倉持会長よろしく願います。

会 長

それでは、次第3 議事録署名人の指名ですが、議長において指名してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

会 長

それでは、議事録署名人に、「生井 邦彦委員」「中山美代子委員」を指名します。よろしく願います。

会 長

次第4 前回のおさらいとこれまでの経過について、事務局より説明を求めます。

行政経営係

(資料に基づき説明)

会 長

ただいま、事務局より前回のおさらいということで説明をいただきました。この点について、ご質問がございましたら願います。

会 長

なければ、次の議事に入ります。質疑なしということで、次第5 議事に入ります。議案第1号「じょうそう未来創生プラン基本構想案」について、事務局から説明を願います。

行政経営課長補佐

(スクリーンで資料説明)
(午後1時38分 五木田委員入室)

会 長

ただいま、事務局より説明があり、これについて審議に入りたいと思いますので、説明のあった3点についてご意見のある方をお願いします。

岡野委員

地下鉄8号線の問題ですが、鉄道審議会があるかと思います。野田までは計画に入ってきていると思いますが、北進についてはどのように明記されているのか。

行政経営課長

今、岡野委員がおっしゃったように地下鉄8号線は東京の豊洲の方から野田市までは計画が決定されています。昨年度、交通政策審議会が行われまして、利根川を越えた茨城県についての要望もあったわけですが、こちらについては、首都圏のバックアップ機能としてという文言が入っています。今後、東京のバックアップ機能として茨城県が効果を高められるようなといった位置づけであったと思います。あくまでも今のところは、構想路線から検討していくようにと、まだ、はっきりとした形にはなっていません。あくまでも要望していく路線ということです。

岡野委員

交通政策審議会でちゃんと位置づけはされたのでしょうか。

行政経営課長

あくまでも今後検討していくための要望ということです。現在、建設は野田までです。

生井委員

その件については、私も委員として10年くらい出ているのですが、いっこうに話が前に進まない。野田以北についてはまったく白紙の状態なので、どういう路線とどういう風に走っていくかということは、まったく未確定です。野田までの沿線については、確定ではないのですが、この辺に線路をひいたらいいんじゃない

ないかみたいなところなので、どこをどういう風を買収していったというところまではならない。そこまで行くのには、後10年後くらい、あるいはそれ以降になるというのが現状です。

会 長 なければ、これまでの審議内容を踏まえ、答申案について事務局より説明をお願いします。

行政経営係 (答申案について説明)

会 長 ただいま、事務局より説明がございました答申案についてのご意見等ありましたら承りますのでよろしく
お願いします。

水野委員 私の専門的な立場で皆さんに聞いてもらって、また持ち家持ち家で専門家ですから持ち家の専門的な意見も上げてもらえればありがたいと思います。私からは4番目の土地利用の推進について載っておりますけれども、確かに明文化されて抽象的に載っておりますので注文をつけるわけではありませんけれども、明文化されていますので、私が言いたいのは頭の良い方は簡単に書きますけれども実態はなかなか難しいと考えておまして、私なりの考えでお話をさせていただきます。具体的に話をした方が分かると思います。私は高杉市長に石下町と水海道市が合併した常総市の都市計画の考え方について、長としての指針はどれか、1国2制度という中でどういう計画で答申をしてあるのか。この時、私は反問されたんですね。それは何ですか。これだけのスタッフを揃えていて、ちゃんとした方針を立ててやるのかと聞いていたのですが、なぜかという常総市の中でも水海道と石下は都市計画が違うのです。計画は皆さんご存知の方もいらっしゃると思いますが、私はそう考えていたので言ったのですが、その時反問されて中島議員からは、市長が反問するという事はないんだといわれましたが、私はそういうことから、それが本当の常総市の新しい石下と水海道が吸収合併であっても、新しい常総市のあり方というのを市長として、どういう風に政策して皆さんに納得してもらって今後の将来の常総市の方針を打ち立てるかということで聞いたつもりであった。課長さん

もみんな聞いていると思いますが、その時に、これはダメだ。また専門分野でどのように解釈してもらっているかわかりませんが、これは話にならないということで私は議事録に残している。いまだに、私は間違っているのではない、やはり当時の市長であれば、これだけのスタッフを揃えているのですから、ちゃんとした方針ぐらい長として新しくやるからにはやってもらいたいというのが、私の考えであったので言いました。細かく言うとうまいことこの中に網羅してありますよね。これは間違っていない。確かにしっかりしたことも書いてあると思っているのですが、部分的にいうと石下時代に合わせて考えたときに石下と水海道は都市計画が違うのだ。色々な面で合併してから大変だということで石下の議員は知っていると思いますが、この中で当時の町長にお願いしたつもりなんです。それで合併することになって、編入合併ということで石下のことについては理解できない部分があったのではと思っているのですが、この後の一つ端的に例を申しますと、石下町の県道付きで道路、農用地の土地利用についても、一種農地にされていなかったところまで、今まで都市計画もしていなかったところ、農用地にされてなかった県道縁にも農用地になっているんです。その中にあるように全部地元の地権者や地域にも説明なしに条例改正したのか、そのような見直しを行っている現実がある。やり方を間違ったんだなと思いましたが、今後、当初から言ったように、専門的な立場でもありますので、地権者は大変な問題が起きますのであまり言わないでいるのですが、わかっている人はなんでこれをやってしまったのだと言っている人もいます。激しく変わる世の中ですから都市計画していなければ、一反ぶり坪当たり云々3万も4万も売った土地が、今100万ぐらいになってしまう。当然水海道と都市計画が違うのですから、そんなこともあります。だから、そういうことをなんでやってしまったのかなと私は感じたので、今後こういう構想案ですが、大変なのはわかっていますが、やっぱりこれだけのスタッフを揃えているので、やっぱりやるのであればしっかりとそこらまで勘案して私が言っていることに間違いがないとすれば、ここは部分的な話になりますが気をつけてもらいたい。この中にも専門的な立場の方もいらっしゃるのできちんと聞いていただければと思います。しっかりと審議会の名に恥じない様にやっていただければと思います。

会 長

貴重なご意見，歴史を遡っての色々な土地利用の歴史を踏まえて，これから答申に当たっての貴重なご意見をいただきました。十分意見を踏まえて答申に進めたいと思います。その他意見がございましたら，お聞きします。ご意見がなければ，この内容を持ちまして審議会の答申といたします。これから，この場所で基本構想についての答申，基本計画案についての諮問の対応に移りたいと思いますので，ここで審議会を一時中断といたしまして，進行を事務局にお返しいたします。

行政経営課長

それでは，少々時間をいただきまして，基本構想についての答申，基本計画についての諮問をさせていただきます。それでは5分少々休憩を取らせていただきます。

(午後2時4分 休憩)

(午後2時11分再開)

(倉持会長より市長に基本構想について答申，市長から基本計画について倉持会長に諮問。)

市 長

改めまして，こんにちは。今日は常総市の総合計画審議会ということで，これまで4回の議論を重ねていただいた基本構想に関して，答申をいただきまして誠にありがとうございます。1回目の時にもご挨拶をさせていただきました。常総市のこれからの5年後10年後に，このビジョンは単なる総合計画という役所の言葉ということだけではなく，市民の皆さん一体となって5年後10年後の常総市の姿をイメージできる。これが何よりも大事なのではないかとということでもっと市民に寄り添って，全員が共有して理念は達成できるものだと思っております。そういう中で，今回，審議会の皆さんに本当に大切な部分の5点に関しまして，答申をいただきましたことに対してありがたいと思っております。特に，5番目の市民協働が欠かせない視点で，これがまず何よりもこれからは大事になってくるのではないかと感じております。圏央道のインター周辺もそうですし，人口減少対策もそうですし，今まで日本全国でかつて経験したことがない時代に突入している大きな時代変革の中で，これからの時代を創っていく，人口が減っても高齢化の時代になっ

でも市民の皆さまが豊かさを実感できるよう皆さんと一緒に創っていくということが何よりも大事なことだと思います。行政，市民という垣根ではなくて，一緒になって考えて汗を流して創った計画だからみんなで実行しようと思つながらののだと思っております。ぜひ，これから具体的な基本計画の諮問に入らせていただくこととなりますが，ぜひ，皆さま方代表として貴重なご意見をいただきながら，地元に戻られて地元の声を集約していただければ大変ありがたく思います。今後ともご指導賜りますようお願いを申し上げまして御礼とご挨拶に代えさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

(市長退席)

(午後 2 時 19 分再開)

会 長 次に，議案第 2 号「じょうそう未来創生プラン基本計画案について」事務局から説明願います。

行政経営課長補佐 (スクリーンで資料説明)

会 長 ただいま，事務局から，説明がございました。ご意見等ありましたら伺いたいと思います。

五木田委員 防災のことについてお伺いしたい。地震なり，水害なり当市が被害を受けてその時どうするかという視点からはあったかと思いますが，今後予想される関東直下型の地震ですと，東京方面がかなり被害が大きくて，その際に比較的被害が少ないかもしれないこちらの方へ多くの避難される方がどっと来ることも考えられます。そういう風に大量に避難される方が来られた場合に受け入れ態勢ですとかそういった観点からの検討は行われているのでしょうか。

市長公室長 首都直下型地震がかなり高い確率で発生するといわれておりますが，避難所の方は市では 28 か所を指定

避難所に指定しております。国あるいは他の自治体から避難所の要請があった場合は、そういう公共施設等を優先的に用意していく考えであります。今ある防災計画の中では明記してございませんので、今後見直しをしたり、各種マニュアル、避難所対応マニュアルなどこれから作りますので、その中で検討していこうという話は出ております。

塚本委員

答申案の中で、道路網の整備ということで、じょうそう未来創生プランの中の42ページにありますように地図になっているのですが、国道354号の4車線ということが書いてありますが、東西にあるのは、国道354号と圏央道だと思いますが、実質的に常総市の354号を見ますと鬼怒川の手前で有料道路になっていましてそれほど交通量が多いように見受けられない。その反面、石下の土浦境線あたりの道路をもう少し整備するなり、この下にあるアグリロード、つくば下総広域道路が国道294号で止まっている状況であります。あれがつくば市の金村まで来ておりますので、接続ができないかなと思っていたが、急に354号の方に曲がってきてしまう。なぜ、あそこで止まってしまうのか。その上の土浦境線も朝晩は294号との交差点がかなり混雑しております。あれが下妻方面から交通量が増えていますので、東の方に来ると豊田の方まで車がつながっているという状況ですので、これから常総市が発展するといいますか、まちづくりをする上では石下のお城の周りの整備もきちんとやっていただきたいなど、10年先20年先だとは思いますが、そういったものに入れていってもらわないといつまでたっても実現できない。そこを主張していきたいと思っております。下総広域道路の方は、10年20年くらい前に豊田の曲田のところを通過して抜けるといった構想もあったのかなと思ったのですが、それから丸っきり消えてしまっているので、その辺も踏まえてお願いできればと思います。

経済環境部長

ご質問の中で、つくば下総広域農道の話がありましたが、平成2年に整備をするといった計画ができて、平成5年から整備に着手しているということです。8市町。つくば市から坂東まで約27キロが広域農道となっている。つくば市と常総市の間の小貝川がクランク状になっておりまして、その部分がストレート

に通れるようにといった趣旨だと思います。古い計画で当時は建設省でしたがルートについては色々協議したということだが、小貝川に橋を架ける関係などで現在の形になっているということを聞いています。こういった話があるといったことも承っていますので、今後の検討課題として受け止めています。

塚本委員

難しいと思うが、あの辺をまっすぐ突き抜けないと交通網の学園と常総市のパイプといったこともあるので、圏央道などとも連携がとれるように、話があった時は進められるようお願いしたい。ただ話があったから聞いたではなくて、そういった意見が出たといったこともお願いしたい。もう一点、土浦境線で、石下の市街地より南、バイパスの方の整備ももう少しやらないといつまでも渋滞しているような状況ですので、審議会の中で入れていたただければ、幸いかと思っております。あと、豊田城のお城の周りの整備もやっていただきたい。あと思うのは石下駅がありますが、元の石下庁舎の周りの整備に力を入れていただきたい。水害で被害を受けた部分がありますが、旧石下庁舎がありましたので、今空き地になっておりますが、管理するのも大変ですが、あの辺の整備も未来創生プランの中に入れていただければ幸いと思っております。

篠崎委員

アグリロードの 294 号のクランクを何とかという話がありました。本日、10 時から本豊田の自治区長さんと三坂地区の自治区長さんなど 13、14 人集まって、市長にも加わってもらい話をしたところです。その中で、平成 2 年から計画して 99.8% くらい完成して、アグリロード計画の中では難しいのではないかということで、それとは別に常総市とつくば市と県とももちろん国も交えて圏央道インターチェンジに絡んだ一体型の要望をしていこうという期成同盟会を今年中に立ち上げていこうということで会議がありました。誰も反対する人はいないと思う。皆さんにも直接的あるいは間接的にも関りがあり、直線にして 3 キロ弱だそうです。距離的には短いですが、小貝川に架かる橋が 60 億とか言っていました、実現するように報告させていただきます。

倉金委員

少子化対策についてお聞きしたいと思います。27 ページの基本方針の中に出産から切れ目のない子育て

支援策を図りと地域全体で子育て世代を支える地域社会の形成を図りますと書いてありますが、出産する場所がない。他市町村に行っても出産するということがあるのですが、出産場所を見つけるのが大変であると聞きます。当市においても病院をどうにかしてほしいと思います。

保健福祉部長

産科につきましては、全国的に医者が少なくなっておりまして、坂東も含めて当地区においても産科がない状況となっております。この点については、市としても重大な課題として認識しております。地域医療の核となっております、きぬ医師会を中心に参加の誘致が出来ないかという相談も含め、現在進めているところですが、まずは医者が手を挙げてくれるかどうか、どこまで市が支援できるかというのが政策となってくると思うが、なるべく市の方でも産科の方が来てくれるような支援策を考えていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

入江委員

学校教育の充実の 39 ページのところですが、外国語指導助手というのが各学校 19 校のうち小学校何名、中学校何名と完全な配置がされていまして言葉の方の教育は充実していると思います。過日、私もこのような話をしたと思うのですが、オリンピックとパラリンピックを契機としたという言葉を使っていますが、契機とした国際理解教育の推進で、私のお願いですが、県や文科省で冊子みたいなものができているんですね。ある地域ではおもてなしの心で浴衣を着てもてなす。常総市独特のもので何か上手く考えていただいて売り込むということも考えていただきたい。国際理解教育というのは、常総市の特徴を、外国語指導助手あるいは外国人が常総市にたくさんおりますので、その方たちと意見交換をする場所をつくって、先生方と一緒に市民協働していくのも一つだと思いますので実施いただいて、いつから実施するか、どのように創り上げていくか、一般には学校の子どもたちが多いのですが、簡単な言葉を市民の皆様で希望者がいればということをお考えいただければ良いかと思う。最後に学校教育の市民の満足度は現況 28.1%で目標 33.1%ですが、これはどのくらいの数値であればよいのか。38 ページの真ん中あたりで、「学校教育」に対する満足度は 28.1%となり、平成 24 年調査から 11.2 ポイント上昇しましたとあるが、どういったところが調査の対象

項目となっているのか。

行政経営課長

アンケートについては、漠然とした内容でしたが、教育文化・生涯学習の分野についてあなたはどのような風にお考えですか。といった、これだけの質問である。これに対して満足とお答えいただいた方が 5.3%、やや満足とお答えいただいた方が 22.8%、どちらともいえないという人が 51.9%という回答をいただいたということでございます。

総務部長

漠然とした内容でしたが、学校教育について、あなたはどう思われますかという質問に対して 28.1%が満足もしくは、やや満足とお答えいただいたということです。逆に言えばほとんどの方はどちらともいえないと回答した方が多かったということが事実でございます。

入江委員

子どもの認定幼稚園とか皆さんお分かりですか。3つの認定こども園。幼稚園と保育所は管轄が違うでしょう。市民の皆様は分かっているのですかね。

保健福祉部長

認定こども園というのは、子ども子育て支援法が出来て、以前、幼稚園だったところが保育所も併用してやりましょうというような形で、3つの認定こども園というのは、水海道幼稚園、二葉幼稚園、きぬ幼稚園がなっている。ちなみに、家庭的保育事業所というのは、三坂の神社の近くにぐーちょきパンパンという保育所があります。6つの保育所につきましては、市立の第一、第二という形です。

生井委員

4か月くらい前まで常総市の観光協会の会長をやっていました。その時感じたのは、私の同級生が都内で小さな観光業をやっていて、バスでこの辺りを通りかかって、先導していて一番困ることはトイレの問題である。お城の近くにトイレがあって、便利だよなとお褒めいただいたのがつい3年前。ところが、一週間か10日前ほど前に孫の運動会だったので覗いてみたら、便器が壊れてトイレの形になっていない。この管理はど

こがやっているのですか。トイレとして使えない状況になっている。

教育部長 地域交流センターは生涯学習課が管理をしております、石下体育館はスポーツ振興課ということになっております。外にあるトイレは生涯学習課ということですが、トイレの中の様子までは確認しておりません。使えるようになっているものだと思いますので、確認いたします。

生井委員 集客に困っているところは、トイレがあると集客が違う。高速道路のサービスエリアなどは利用がすごい。ぜひ、その辺をお願いしたい。もう一点、石下庁舎から出てきて西の方に行くと、コンビニがあり、その脇に十字路がある。十字路はあれでよいのか。子どもたちの登下校時間には、小さい十字路の中におしくらまんじゅうをしているような状態である。あれでは大事故になってしまう確率が高くなってしまうと思う。それが分かっているのであれば改善いただきたい。

都市建設部長 石下庁舎の方から信号を渡りますと、直進でなくて少し斜めに入るような形にもなっていますし、小学校側から来ると、横断歩道を渡る子どもたちが待機する場所もないのかなと認識している。

水野委員 先ほどから塚本さんからとか意見があったので知っている限りで説明補足いたしますと、県道高崎坂東線、今のアグリロードは、地元で反対があったので抜けなかった。当時の町長から聞いておりました。その後、なんであそこを曲げたんだということ、審議会で要望して取り込んでいただかないといつまでたってもできません。地元の反対があったのでと私は聞かされています。今度の審議会ではぜひともそこを直線でつくば市へ行けるようにやってもらいたい。

会 長 次第6 その他でございますが、何かございましたらお願いします。

水野委員 県道というのは少子高齢化の時代で人口が減って大騒ぎしていますけれども、私は県道の入り口というのは50mくらい除外してあるんですよ農用地ね。先ほどの話と関連しますけれども、県道が出来たら、高崎坂東線も古間木までできますが、反対している人もいますが、旧水海道の豊岡工業団地まで線もできているということですが、反対があってできないということですが、その辺も併せてどういう風に他並みに除外を推進するのか、やらないのか。そうでないと関東平野の平地ですから、私は将来これから10年20年を見るとやり方によっては人口が増えてくる、他の企業も増えてくると思っていますので考えていただけるとありがたい。

塚本委員 先ほども少し触れましたが、石下駅の下石下庁舎周辺の整備。その辺はどのように考えていますか。農協の方も支店の統廃合を行い、石下地区でも5つの視点があったのを1つにして石下の駅前の一支店にしたところがございますので、あの辺の踏切から倉庫を壊して見通し良くしたのですが、踏切から元の石下庁舎の玄関の方の道路に突き抜けられるような構想はあるのか、ないのかお聞きしたい。

都市建設部長 石下地区の中心市街地活性化ということで石下駅前も含めて旧役場跡地、駅前から橋に向かっての道路も含めまして、只今、プロジェクトチームを庁内で組織をしまして総合的に検討が始まったところでございます。今後詰めていきたいと思っております。

水野委員 塚本さんからの意見について端的に言いますけれども、私は編入合併ということで石下は除かれたかと思っておりますけれども町の再開発ということで検討はしてある。ところがやってももらえないのが現実である。財政の事情もあると思いますが、やるということはやってももらわないといけない。編入合併でも水海道はやってしまっているので、石下もやるわけで何回か検討した。

会 長 その他、なければ事務局お願いします。

行政経営課長

今日、案を示した中で色々ご意見をいただきありがとうございました。計画案を示しましたので、持ち帰ってこの意見を言いたかったという方もいらっしゃると思いますので、時間が短くて申し訳ありませんが、今月の23日までに事務局にご連絡をいただければと思います。次回の会議については、11月27日（月）午後1時30分からこの場で予定しております。10月23日までにご意見等いただきましたらこの後庁内で調整いたしまして11月27日にお示しいたします。

会 長

以上をもちまして、本日の協議を終了したいと思います。どうもありがとうございました。

（午後3時15分 会議終了）

上記の議事の正確なることを証するためここに署名する。

平成29年12月6日

常総市総合計画審議会

会 長 倉持 守

署名人 生井 邦彦

署名人 中山美代子